

サイバーセキュリティトレンド 2018

技術、社会の発展とともに、サイバー攻撃も進化を続け、新たな脅威を生み出している。企業・組織はサイバーセキュリティ情勢を正しく認識し、実態の把握と適切な対策を継続的に実施していくことが社会の一員としての責務である。

本資料に掲載されている会社名、製品名などの固有名詞は、一般に該当する会社もしくは組織の商標または登録商標です。

●NTTテクノクロスは環境保護に取り組んでいます。

NTTテクノクロス株式会社 セキュアシステム事業部

TEL : 045-212-7252

Email : cs-trend@cs.ntt-tx.co.jp

URL : <https://www.ntt-tx.co.jp/products/cs-trend/>

Copyright© 2018 NTT TechnoCross Corporation



1 IoT脆弱性があらゆるものをサイバー攻撃に加担させる

IoT脆弱性が攻撃者に悪用されている。IoTデバイスの急増とともに、サイバー攻撃の規模も巨大化し深刻な問題となっている。サイバーとフィジカルが融合する新たなボーダレス時代においては、IoT脆弱性の対策が急務である。



2 事業継続性を脅かすサイバー攻撃対策が益々重要となる



従来のランサムウェアに加え、ランサムDDoS、標的型ランサム等、身代金要求の脅迫攻撃が多様化するとともに、社会混乱を狙った破壊型DoS攻撃も増加する。事業運営のために必要なシステム、データ、ネットワークリソースが突如として失われないよう事業継続計画の策定と実行、復旧演習が急務である。

3 サプライチェーン/ヒューマンネットワークに介在するソーシャルエンジニアリング攻撃が増大する

取引先や上司になりすましたビジネスメール詐欺が急増している。サプライチェーンやヒューマンネットワークに介在するサイバー攻撃は見分けが付きにくく、最大の脆弱点である人を狙うソーシャルエンジニアリング攻撃は今後も増加していく。ビジネスメール詐欺に限らず、サプライチェーン全体でのセキュリティ対策が必要である。



4 インシデント対応組織の実践力が問われる



インシデント対応強化のためCSIRTを設置する企業が増加している。しかしながら、実際のサイバー攻撃発生時には、その経験不足から十分な対応ができないCSIRTがほとんどである。昨今、レッドチームの結成により、実際に攻撃をしてみても防衛力を確認する演習スタイルが注目されている。CSIRTの実践力強化が期待される。

5 IT資産管理/脆弱性管理/シャドーIT対策が加速する

ソフトウェア脆弱性を悪用した攻撃が多発し大きな被害を及ぼしている。脆弱性管理が不十分であることが露呈した。脆弱性発見はワイヤレスやCPUチップにも拡大しており、資産管理/脆弱性管理を徹底しなければならない。加えて、端末/利用者/アクセス先が許可されたものになっているかどうかを常に監視していく必要がある。



6 プライバシー保護対策が進み、パーソナルデータ利活用のチャレンジが進行する

2017年5月30日の改正個人情報保護法の施行、2018年5月25日のEU一般データ保護規則(GDPR)の施行により、個人情報保護、パーソナルデータ利活用は新たな時代に入りました。法運用形態が定着するまでには時間を必要とするが、戸惑いながらもプライバシー保護対策を施したパーソナルデータ利活用のチャレンジが進行する。



7 モバイル利用の加速に伴い、攻撃のターゲットがモバイルにシフトする



2020に向けてモバイルネットワーク/サービスが拡大していく。社会生活の中でのモバイル利用の加速とともに、あらゆる場面でモバイルを標的にしたサイバー攻撃も増加している。モバイル環境におけるセキュリティ対策は十分とは言えず、モバイルサービスを提供する側、利用する側双方でのセキュリティ対策が必要となる。

8 AIを悪用した攻撃技術とAIを活用した防御技術がしのぎを削り、マシン戦争時代に突入する

コンピュータ性能の飛躍的な向上、機械学習技術の高度化を背景に、第三次AIブームが到来している。AIを活用したセキュリティ対策技術の進化もさることながら、AIによるサイバー攻撃、AIの脆弱性を突く攻撃が今後増加していくものと考えられ、マシン対マシンのサイバー攻防が繰り広げられる時代に突入していく。



9 加速するビジネススピードに対して継続的なセキュリティ確保も必須となる



加速するビジネススピードに対して、より柔軟、より迅速、より安全に開発・運用し続けるDevSecOpsが注目されている。高まるセキュリティ脅威に対して、セキュリティバイデザインによるシフトレフトに加え、開発/運用プロセスの中に、継続的に安全性をチェックする仕組みを導入していく必要がある。

10 仮想通貨をターゲットとしたサイバー攻撃が増大する

仮想通貨ニーズの急拡大に伴い、仮想通貨を狙ったサイバー攻撃も増大しつつある。仮想通貨そのものを所有者から奪い取る攻撃に加え、仮想通貨マイニングのための演算リソースを奪い取る攻撃に悩まされることになる。仮想通貨の管理、マイニングマルウェアの感染に注意が必要となる。

